

## 平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月5日

上場会社名 アールビバン株式会社  
 コード番号 7523 URL <http://www.artvivant.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野澤 克巳  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室マネージャー (氏名) 中島 章裕  
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月12日

上場取引所 JQ

TEL 03-5159-7177

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	5,431	—	552	—	525	—	48	—
20年3月期第3四半期	6,379	△13.4	511	△13.7	570	△15.7	146	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	3.54	—
20年3月期第3四半期	10.54	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	18,071	14,539	80.5	1,057.64
20年3月期	19,370	14,860	76.7	1,079.91

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 14,539百万円 20年3月期 14,860百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
21年3月期	—	5.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	30.00	35.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 有

### 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,900	△16.6	570	30.4	550	27.3	40	—	2.91

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
 新規 — 社(社名) ) 除外 — 社(社名) )
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
 (注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他 をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)  
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 ② ①以外の変更 無  
 (注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他 をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)  
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 15,463,816株 20年3月期 15,463,816株  
 ② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 1,717,140株 20年3月期 1,702,940株  
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 13,758,296株 20年3月期第3四半期 13,851,976株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 1.上記の業績予想につきましては、平成20年11月10日に公表しました内容から変更しております。詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3.連結業績予想に関する定性的情報及び本日別途公表する「特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。
- 2.本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因によって予測数値と異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3.連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。
- 3.当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的な金融危機の深刻化とともに、企業業績や雇用情勢の悪化が表面化し、個人消費は伸び悩み、また為替等の変動の影響もあり、景気の減速感が一層強まってまいりました。当社グループを取り巻く事業環境もさらに厳しい状況が続いていくものと思われまます。このような状況のもと、当社グループは、新規顧客重視の営業施策とさらなる経費の削減に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高5,431百万円（前年同期比14.9%減）、営業利益552百万円（同8.1%増）、経常利益525百万円（同8.0%減）、四半期純利益48百万円（同66.7%減）となりました。

なお、前年同期比は参考として記載しております。また、第1四半期から事業の種類別セグメントを変更したため（詳細は、8ページ「5. 四半期連結財務諸表 (5)セグメント情報」をご覧ください）、前年同四半期分を変更後の区分に組み替えて行なっております。

## ◆アート関連事業

当社グループの主力事業である絵画等販売事業におきましては、新規顧客の獲得により一層注力し、催事販売における会場費等の経費削減・効率化に引き続き取り組んでまいりました結果、売上高は3,368百万円（同17.6%減）、営業利益363百万円（同103.3%増）となりました。

## ◆金融サービス事業

当社グループ顧客に対する割賦販売斡旋業務を引き続き行なっておりますが、新規契約件数・金額の減少により、売上高724百万円（同20.3%減）、営業利益437百万円（同19.4%減）となりました。

## ◆リゾート事業

当社の株主優待制度条件変更により利用客数が減少し、それに伴い料飲部門・タラソテラピー部門の利用率も伸び悩んだ等の結果、売上高899百万円（同14.3%減）、営業損失143百万円（前年同期は14百万円の営業損失）となりました。

## ◆健康産業事業

フィットネスクラブ等における会員獲得数は堅調に推移しましたが、固定費を回収するには至らず、売上高433百万円（同38.7%増）、営業損失118百万円（前年同期は206百万円の営業損失）となりました。

## ◆その他の事業

家具販売事業の売上高は15百万円、営業損失15百万円となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、金融サービス事業における割賦債権の減少等により受取手形及び売掛金が1,585百万円減少し、前連結会計年度末に比べ1,298百万円減少した結果、18,071百万円となりました。

また、負債につきましては、割賦利益繰延や未払法人税等の減少により、前連結会計年度末に比べ976百万円減少し、3,532百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ321百万円減少し、14,539百万円となりました。

## ② キャッシュフローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は（以下「資金」という。）は、割賦利益繰延の減少、法人税等の支払や配当金の支払等の減少要因があったものの、税金等調整前四半期純利益や売上債権の減少等の増加要因により、前連結会計年度末に比べ997百万円増加し、5,097百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は1,355百万円となりました。

これは主に割賦利益繰延の減少額388百万円、法人税等の支払額369百万円等の減少要因があったものの、税金等調整前四半期純利益212百万円、売上債権の減少額1,585百万円等の増加要因があったことによります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は124百万円となりました。

これは主に敷金及び保証金の回収による収入143百万円等の増加要因があったもの、投資有価証券の取得155百万円、敷金及び保証金の差入による支出53百万円、有形固定資産の取得による支出37百万円等によります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は278百万円となりました。

これは主に配当金の支払275百万円等によります。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の経済環境については、世界的な景気減速後退の影響が当面続くものと思われ、企業収益や個人消費についても厳しい状況が続くことが想定されます。当社グループにおきましては、当第3四半期連結累計期間においてアート関連事業を中心に営業利益では改善が見られ、今後も一層の経費削減などに努めてまいります。さらに厳しい事業環境が想定されることから、平成20年11月10日の決算発表時に公表いたしました通期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日別途公表いたしております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

#### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

##### ①固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

##### ②繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降経営環境等及び一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

#### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号）を第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。

なお、これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,097,838	4,100,738
受取手形及び売掛金	7,524,481	9,110,343
商品	469,001	432,852
製品	8,174	11,781
原材料	12,937	12,334
仕掛品	4,308	1,222
貯蔵品	60,845	61,480
前払費用	342,858	484,685
繰延税金資産	408,670	506,603
その他	357,447	372,045
貸倒引当金	△86,649	△67,958
流動資産合計	14,199,915	15,026,131
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,602,074	2,633,679
減価償却累計額	△855,155	△829,259
建物及び構築物(純額)	1,746,919	1,804,419
土地	324,468	331,768
建設仮勘定		31,566
その他	555,727	548,578
減価償却累計額	△288,320	△279,299
その他(純額)	267,406	269,279
有形固定資産合計	2,338,794	2,437,033
無形固定資産		
のれん	31,218	44,574
その他	44,699	35,776
無形固定資産合計	75,917	80,351
投資その他の資産		
投資有価証券	640,752	977,918
敷金及び保証金	349,148	439,041
繰延税金資産	195,006	132,327
その他	386,582	341,770
貸倒引当金	△114,346	△64,534
投資その他の資産合計	1,457,144	1,826,523
固定資産合計	3,871,855	4,343,908
資産合計	18,071,771	19,370,039

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	247,211	190,978
未払法人税等	33,827	245,076
賞与引当金	43,075	88,516
返品調整引当金	15,680	42,181
割賦利益繰延	1,796,267	2,184,440
その他	1,047,380	1,393,207
流動負債合計	3,183,442	4,144,400
固定負債		
退職給付引当金	14,262	9,914
役員退職慰労引当金	308,904	329,373
その他	26,071	25,807
固定負債合計	349,237	365,095
負債合計	3,532,680	4,509,495
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,656,000	1,656,000
資本剰余金	6,706,301	6,706,301
利益剰余金	7,441,187	7,667,730
自己株式	△1,142,512	△1,138,565
株主資本合計	14,660,977	14,891,467
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△121,886	△30,923
評価・換算差額等合計	△121,886	△30,923
純資産合計	14,539,090	14,860,543
負債純資産合計	18,071,771	19,370,039

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	5,431,065
売上原価	2,467,487
売上総利益	2,963,578
販売費及び一般管理費	2,411,032
営業利益	552,545
営業外収益	
受取利息	5,964
受取配当金	6,558
その他	23,231
営業外収益合計	35,754
営業外費用	
投資事業組合運用損	12,499
為替差損	28,056
貸倒引当金繰入額	19,800
その他	2,727
営業外費用合計	63,083
経常利益	525,216
特別利益	
前期損益修正益	692
関係会社株式売却益	11,295
特別利益合計	11,987
特別損失	
固定資産除却損	1,842
投資有価証券評価損	281,528
貸倒引当金繰入額	29,512
店舗閉鎖損失	10,565
その他	1,017
特別損失合計	324,465
税金等調整前四半期純利益	212,738
法人税、住民税及び事業税	102,892
法人税等調整額	61,180
法人税等合計	164,073
四半期純利益	48,664

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	212,738
減価償却費	137,460
のれん償却額	13,356
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	68,502
受取利息及び受取配当金	△12,522
為替差損益 (△は益)	30,253
売上債権の増減額 (△は増加)	1,585,862
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△35,596
仕入債務の増減額 (△は減少)	56,233
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△45,441
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△20,469
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△26,500
投資有価証券評価損益 (△は益)	281,528
投資事業組合運用損益 (△は益)	12,499
関係会社株式売却損益 (△は益)	△11,295
前払費用の増減額 (△は増加)	141,826
割賦利益繰延の増減額 (△は減少)	△388,173
その他	△288,541
小計	1,711,720
利息及び配当金の受取額	12,522
法人税等の支払額	△369,119
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,355,124</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△37,442
無形固定資産の取得による支出	△23,505
投資有価証券の取得による支出	△155,399
敷金及び保証金の差入による支出	△53,593
敷金及び保証金の回収による収入	143,487
その他	1,999
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△124,454</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
配当金の支払額	△275,207
その他	△3,683
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△278,890</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,804
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	945,974
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	51,125
現金及び現金同等物の期首残高	4,100,738
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,097,838

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	アート関連事業 (千円)	金融サービス事業 (千円)	リゾート事業 (千円)	健康産業事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高	3,368,612	724,515	899,722	433,847	15,818	5,442,516	(11,450)	5,431,065
営業費用	3,004,650	286,644	1,043,279	552,823	30,903	4,918,301	(39,781)	4,878,520
営業利益 (又は△損失)	363,961	437,871	△143,557	△118,976	△15,085	524,214	28,330	552,545

(注) 1. 事業区分は、提供するサービスの類似性を考慮して、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各区分に属する主要な事業の内容

アート関連事業	版画等絵画の販売及びこれに付随する事業
金融サービス事業	割賦販売斡旋事業
リゾート事業	リゾートホテルの運営
健康産業事業	ヨーガスタジオ、フィットネスクラブの営業
その他の事業	家具販売事業

3. 事業区分の方法の変更

従来、イラスト系雑誌の出版は出版事業として「その他の事業」の区分に属しておりましたが、内部管理上、事業としての独自性が低下し、「アート関連事業」のイラスト系作家開発に付随して行われることが多くなってきたことから、事業の実態を反映したより適正なセグメントで表示するため、第1四半期連結累計期間より、所属する区分を「アート関連事業」に変更いたしました。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間における「アート関連事業」の売上高が53,385千円増加し、「その他の事業」の売上高が同額減少しております。また、当第3四半期連結累計期間における「アート関連事業」の営業利益が104,173千円減少し、「その他の事業」の営業損失が同額減少しております。

4. 営業費用の中に配賦不能営業費用はありません。

[所在地別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

海外売上高は連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。



「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
	金額(千円)
I 売上高	6,379,436
II 売上原価	2,704,985
売上総利益	3,674,450
III 販売費及び一般管理費	3,163,272
営業利益	511,178
IV 営業外収益	
1. 受取配当金	7,700
2. その他	56,134
営業外収益合計	63,834
V 営業外費用	4,180
経常利益	570,832
VI 特別利益	9,840
VII 特別損失	
1. 事業所閉鎖損	29,006
2. その他	110,752
特別損失合計	139,758
税金等調整前四半期純利益	440,914
法人税、住民税及び事業税	321,627
法人税等調整額	△26,746
四半期純利益	146,032

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
区分	金額 (千円)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	440,914
減価償却費	152,097
売上債権の減少額	1,606,188
たな卸資産の減少額	137,789
割賦繰延利益の減少額	△652,243
その他	364,230
小 計	2,048,976
法人税等の支払額	△176,870
その他	5,411
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,877,517
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△55,932
敷金及び保証金の差入による支出	△47,877
敷金及び保証金の返還による収入	46,692
投資事業組合からの分配による収入	83,957
投資事業組合への払込による支出	△7,726
その他	△73,560
投資活動によるキャッシュ・フロー	△54,446
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金純増減額	△300,000
自己株式取得による支出	△21,898
配当金の支払額	△415,559
財務活動によるキャッシュ・フロー	△737,458
<b>IV 現金及び現金同等物の増加額</b>	1,085,613
<b>V 現金及び現金同等物の期首残高</b>	2,463,467
<b>VI 合併に伴う現金及び現金同等物増加額</b>	19,940
<b>VII 現金及び現金同等物の期末残高</b>	3,569,021

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(3) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)

	アート関連事業 (千円)	金融サービス事業 (千円)	リゾート事業 (千円)	健康産業事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高	3,948,878	909,090	1,049,472	312,691	186,168	6,406,301	(26,864)	6,379,436
営業費用	3,713,866	366,088	1,063,845	519,493	283,263	5,946,557	(78,299)	5,868,258
営業利益 (又は△損失)	235,012	543,002	△14,373	△206,802	△97,094	459,744	51,434	511,178

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)

海外売上高は連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

6. その他の情報

注記事項

(四半期連結貸借対照表関係)

\*保証債務

債務保証

(株)松坂屋銀座店 116,320千円